

エコアクション21 環境活動レポート 2015



2015年4月～2016年3月（第8号）

株式会社 近代プラント

作成日：2016年 4月16日

発行日：2017年 3月22日

目次

環境方針.....	1
1. 事業の概要.....	2
(1)事業所名及び代表者名	
(2)所在地	
(3)資本金	
(4)環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先	
(5)事業内容(認証・登録の範囲)	
(6)会社沿革	
(7)事業の規模	
(8)許可の内容	
(9)保有台数	
(10)事業年度	
(11)エコアクション 21 実施体制	
2. 環境目標.....	5
3. 環境活動計画の内容.....	6
4. 環境目標の実績.....	7
5. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価.....	8
6. 次年度への取り組み内容.....	15
7. 環境関連法規制等の遵守状況.....	15
8. その他.....	16
9. 代表者による全体評価と見直しの結果.....	17

環 境 方 針

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行う。
 - (1) 二酸化炭素発生量を削減する。
 - (2) 無駄な上水の使用量を削減する。
 - (3) 一般廃棄物を削減する。
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域の環境保全活動に貢献する。
4. グリーン商品を優先的に購入する。
5. PRTR 法に基づいて、環境に特に影響を及ぼす化学物質を特定し、適正に管理する。
6. 環境活動レポートを公表する等で、環境コミュニケーションを推進する。

制定日：平成 20 年 7 月 1 日

改定日：平成 25 年 4 月 1 日

株式会社 近代プラント

代表取締役 石田 保

1. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 近代プラント
代表取締役 石田 保

(2) 所在地

本社 :福岡県福岡市東区松島4-13-15
志摩研修所 :福岡県糸島市志摩野北1497-31

(3) 資本金

3,000 万円

(4) 環境管理責任者氏名及び担当者の連絡先

責任者:副社長 石田 保憲
担当者:総務課 係長 鹿毛 貴義
本社 TEL092-611-1025

(5) 事業内容(認証・登録の範囲)

福岡市の委託による下水処理場等の施設管理

(6) 会社沿革

昭和43年3月 福岡清栄工業株式会社 設立
昭和50年3月 株式会社近代プラント に社名変更
平成21年6月 エコアクション21の認証を取得
現在に至る

(7) 事業の規模

活動規模	単位	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
処理量					
流入水量(東部水処理センター)	m ³	38,191,330	39,402,830	40,462,133	42,257,130
汚泥供給量(東部水処理センター)	m ³	183,865	189,504	205,000	204,073
MAP 発生量(東部水処理センター)	t	31	18	37	35
脱水ケーキ焼却量	t	38,778	43,998	41,559	41,312
脱水ケーキ運搬量(車両班)	t	5,179	5,279	5,446	5884
焼却灰運搬量(車両班)	t	4,441	4,391	4,165	3912
肥料生産量(下水道資源センター)	t	0	0	0	0
従業員(全社)	人	78	78	81	83
床面積					
本社(敷地面積)	m ²	962	962	962	962

(8) 許可の内容

業の種類	発行機関	許可年月日	事業範囲	許可した廃棄物の種類	有効期限	許可番号
産業廃棄物収集 運搬業	福岡県	H.24 年12月18日	収集・運搬	燃え殻、汚泥、ばいじん	H.29 年12月17日	4000001300

(9) 保有台数

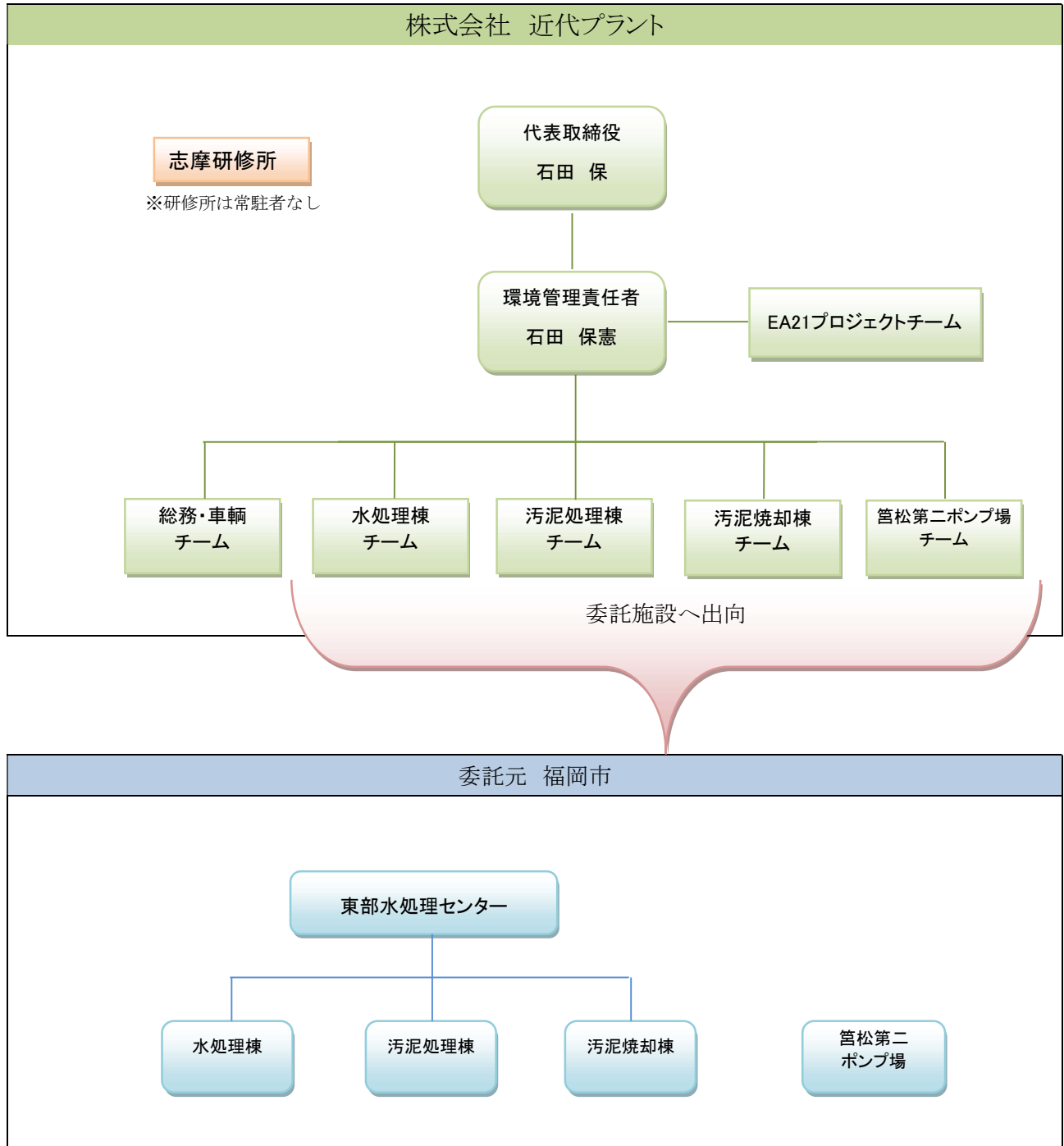
◆10t ジェットパック車	(3 台)	◆電気軽自動車	(1 台)
◆10t ダンプ	(3 台)	◆バス	(1台)
◆4t ダンプ	(3 台)	◆10tダンパー	(3 台)
◆4t ダンパー	(1台)	◆3tパワーゲート	(1台)
◆2t ユニック	(1台)	◆高圧洗浄車	(1台)
◆フォークリフト	(1台)		
◆乗用車	(7 台)		
◆軽自動車	(10 台)		

(10) 事業年度

3 月から翌年 2 月迄

(エコアクション 21 の取り組み期間は平成 24 年度より 4 月から 3 月迄に変更)

(11) エコアクション21 実施体制



2. 環境目標

- 環境目標は自社の事業活動を踏まえて、次の 4 項目について単年度(2015 年度)と中長期(2022 年度)の目標を設定した。
- 二酸化炭素排出量の目標は電力量と化石燃料に分けて、基準値を 2006 年度～2010 年度の実績値の平均値とし、2022 年度までに 16%削減を目標として設定した。
- なお、「化石燃料」については総量ではなく自社で削減努力できる項目を集計して目標値としている。
- 次に水使用量と廃棄物排出量は基準値を 2002 年度の実績値とし、そこから 8%削減した数値を今後維持する目標とした。(2014 年度のまま)
- 化学物質については適正使用、適正管理を目標として使用量の把握に努めることとした。

環境目標		基準値 (2006 年度～ 2010 年度実 績平均値)	単年度目標	中長期目標
			2015 年度 (基準年度比)	2022 年度 (基準年度比)
(1)二酸化炭素 排出量の削減 [kg-CO ₂ /年]	電力量	9,042,448	8,440,221 (△6.66%)	7,595,656 (△16%)
	化石燃料	90,108	84,107 (△6.66%)	75,690 (△16%)
	合計		8,524,328	
(2)廃棄物排出量 の削減 [kg/年]	一般廃棄物 (可燃ごみ)	1,756 ※1	1,616 (△8.0%)	1,616 (△8.0%)
(3)水使用量の削減 [m ³ /年]		17,125 ※1	15,755 (△8.0%)	15,755 (△8.0%)
(4)化学物質の適正使用、適正管理		—	化学物質の適正使用、適正管理に努める(使用量の把握)	

備考)

※1 基準値は 2002 年度の実績値で示す。

※2 二酸化炭素排出量計算に用いた購入電力排出係数は 0.374kg-CO₂/kWh(九州電力(株)平成 20 年度の実排出係数を用いた)

3. 環境活動計画の内容

環境目標を達成するために、目標項目毎に以下の取組を定めて会社で取り組んだ。

(1) 二酸化炭素排出量の削減

— 電力量関係 —

- ・設備の効率的運転
- ・エアコン温度の適正化
- ・不要照明の消灯

— 化石燃料関係 —

- ・エコドライブ運転の実施
- ・アイドリングストップの徹底
- ・給湯温度を低めに設定する

(2) 廃棄物排出量(可燃ごみ)の削減

— 一般廃棄物(可燃ごみ)関係—

- ・生ごみの肥料化
- ・可燃ごみ削減の呼びかけ
- ・リサイクル品を分別する
- ・家庭資源のリサイクル
- ・両面印刷裏紙使用

(3) 水使用量の削減

- ・洗濯物のまとめ洗い
- ・風呂の湯の適正管理
- ・節水標語の貼り付け

(4) 化学物質の適正使用、適正管理

- ・対象化学物質使用量の記録

4. 環境目標の実績

- 2015 年度における環境目標の達成状況は以下のとおりであり、二酸化炭素排出量の削減目標については化石燃料は目標達成したものの、電力量が目標値を上回ったため、合計では目標未達成となったが、他の 3 項目は全て目標を達成できた。
- 電力量が目標値を上回った原因としては、設備機器の運転時間が考えられ、今後は設備の効率運転に努める予定である。

環境目標		2015 年度 目標値	2015 年度 実績値	目標 達成率	目標達成 判定
(1)二酸化炭素 排出量の削減 [kg-CO ₂ /年]	電力量	8,440,221	9,455,313	89%	×
	化石燃料	84,107	79,433	106%	○
	合計	8,524,328	9,534,746	89%	×
(2)廃棄物排出 量の削減 [kg/年]	一般廃棄物 (可燃ごみ)	1,616	1,329	122%	◎
(3)水使用量の削減 [m ³ /年]		15,755	11,594	136%	◎
(4)化学物質の適正使用、適正 管理		—	適正使用、適正 管理に努めた。	—	○

備考) 目標達成判定区分 ◎:目標達成率 120%以上 ○:100~119% △:90%~99% ×:90%未満

※環境実績の二酸化炭素排出量の計算に用いた CO₂ 排出係数には以下の値を用いている

		単位	排出係数	単位発熱量
購入電力		kWh	0.374 (kg-CO ₂ /kWh)	
化石燃料	灯油	L	0.0679 (kg-CO ₂ /MJ)	36.7 (MJ/L)
	A 重油	L	0.0693 (kg-CO ₂ /MJ)	39.1 (MJ/L)
	都市ガス	Nm ³	0.0513 (kg-CO ₂ /MJ)	41.1 (MJ/Nm ³)
	液化天然ガス(LNG)	kg	0.0494 (kg-CO ₂ /MJ)	54.5 (MJ/kg)
	液化石油ガス(LPG)	kg	0.0598 (kg-CO ₂ /MJ)	50.2 (MJ/kg)
	ガソリン	L	0.0671 (kg-CO ₂ /MJ)	34.6 (MJ/L)
	軽油	L	0.0687 (kg-CO ₂ /MJ)	38.2 (MJ/L)

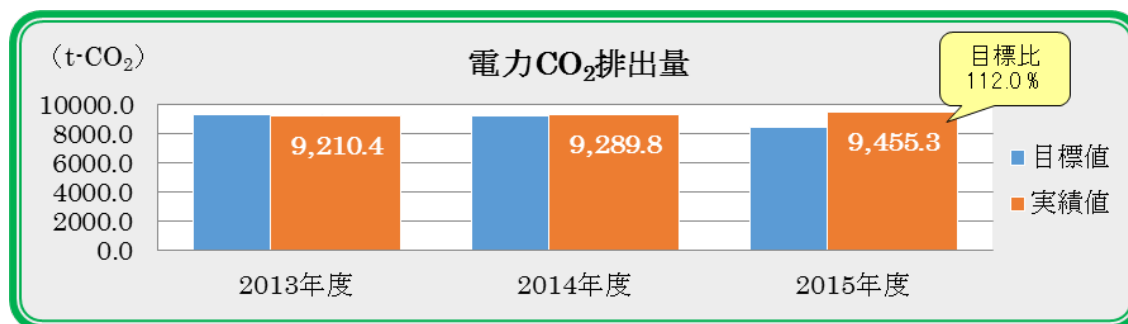
備考) 購入電力の排出係数は、九州電力(株)の平成 20 年度実排出係数 0.374 kg-CO₂/kWh を用いた。

5. 環境活動の取り組み内容とその結果の評価

- ・ 2015 年度における取組の評価を行った。
- ・ 主な環境活動についての評価は以下のとおりであり、取組は概ね良好であった。

(1)二酸化炭素排出量の削減

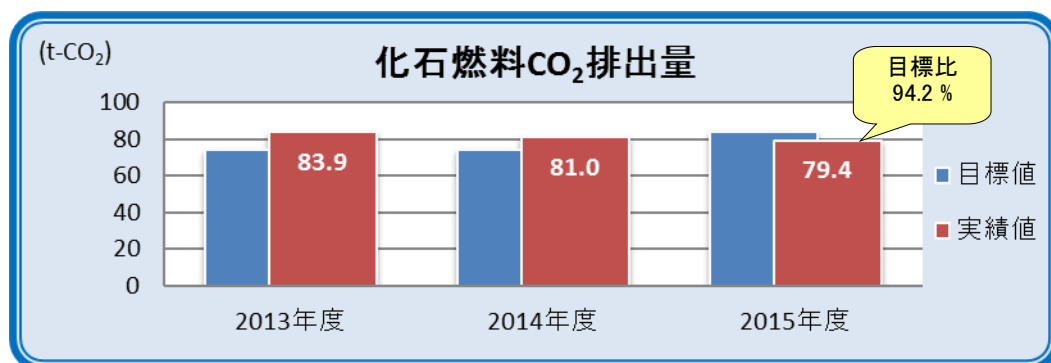
◆電力CO₂排出量の削減◆



取組内容 (2015 年度)	評価
設備の効率的運転	△ 各職場の業務内容が変化し、機器の運転時間が増えた為に電力量が増加した。
エアコン温度の適正化	○ エアコン設定温度管理 (冷房 28 度、暖房 19 度)、定期的なフィルター掃除が効果的であったといえる。
不要照明の消灯	△ 不要な照明の消灯や確実に点けたら消すが身に付いている、作業に影響が出る場所は安全を考慮し点灯や減灯するようにした。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

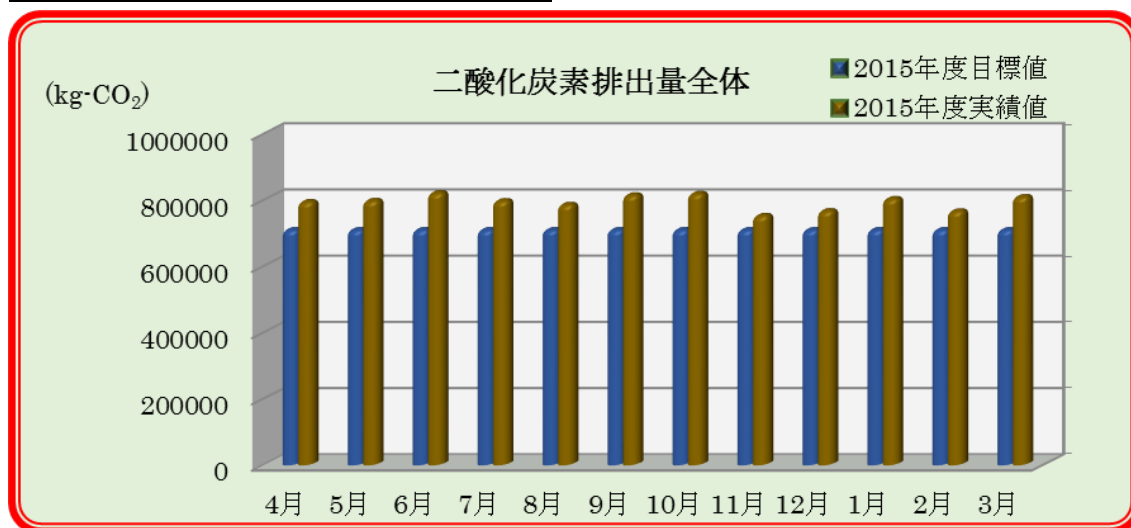
◆化石燃料CO₂排出量の削減◆



取組内容 (2015 年度)	評価
エコドライブ運転の実施	△ 車輦におけるエコドライブの手順と法定速度の厳守。指定車輦燃費は目標を達成した。電気自動車を優先的に使用し使用量を削減できた。
給湯温度を低めに設定する	△ 給湯温度を低めに設定しガスの使用量を把握した。風呂利用回数増加などでガス使用量が増加した。
アイドリングストップの徹底	○ 車内にアイドリングストップシールを表示して取り組みを実施している。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

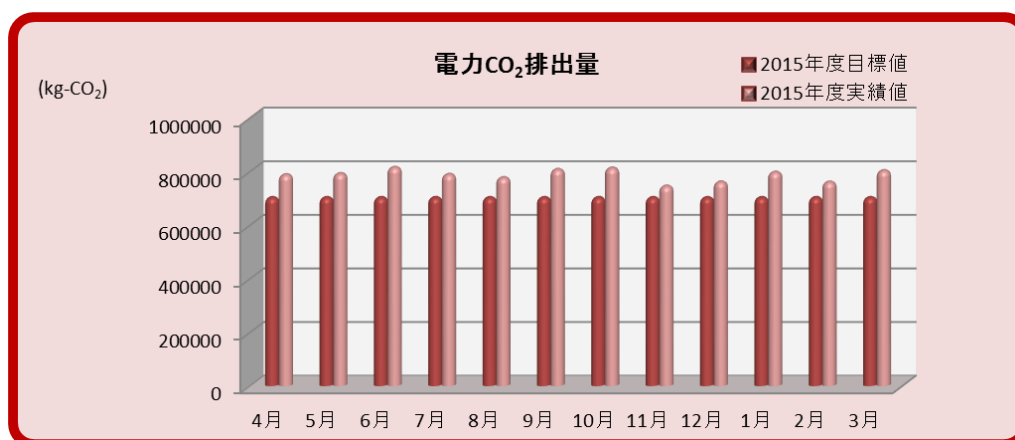
◆二酸化炭素排出量合計の月間推移◆



【評価】

二酸化炭素排出量全体では、年間目標値 8,524,328kg-CO₂、年間実績値 9,534,746kg-CO₂で目標を達成することができませんでした。業務上必要な電力及び化石燃料の影響が大きいです。

◆電力 CO₂ 排出量の月間推移◆

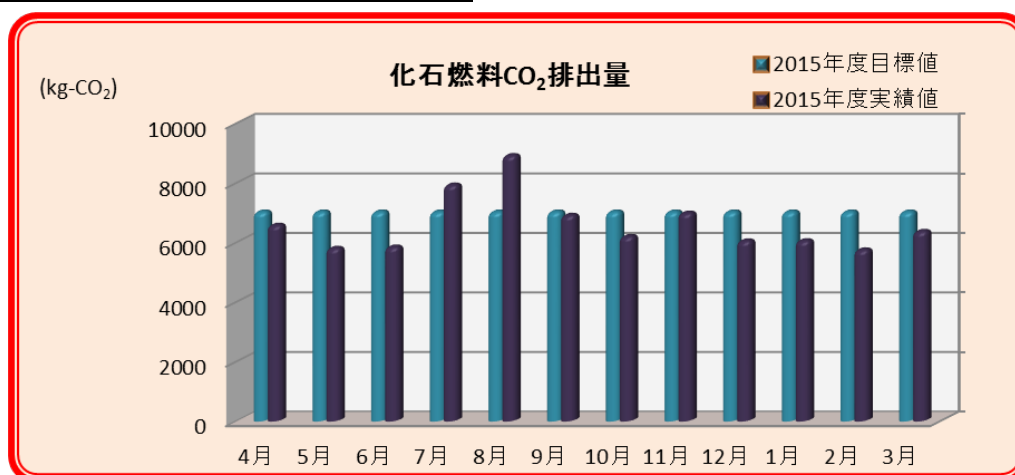


【評価】

電気使用量は、機器の運転時間の増加などで年間目標値 8,440,221kg-CO₂、年間実績値 9,455,313kg-CO₂となり年間目標値は達成することが出来ませんでした。主たる取り組み対象の電力量は、年間目標値 294,150kg-CO₂、年間実績値 277,441kg-CO₂で目標を達成することができました。エアコンの設定温度を厳守しながらカーテン・ブラインドによる温度管理を行なったこと、不要な照明の消灯、LED照明の増設等を行なったことの結果だと思えます。

主たる取り組み対象：機器の運転時間のなどに影響されず、自社で削減可能な項目

◆化石燃料 CO₂ 排出量の月間推移

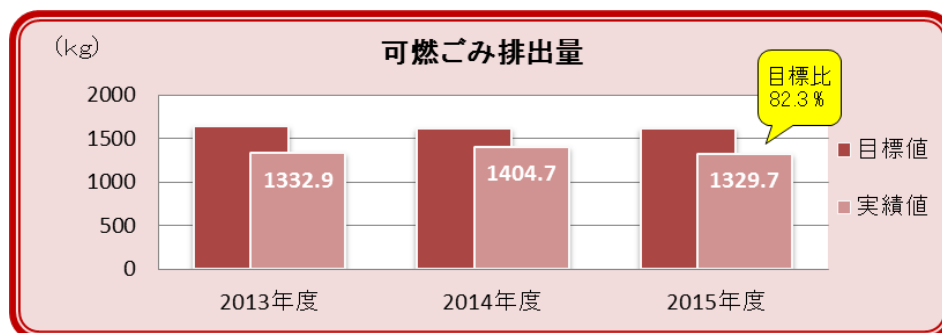


【評価】

自社で削減取り組みのできる項目に関しては化石燃料が年間目標値 84,309 kg-CO₂、年間実績値 79,433 kg-CO₂でした。今年度は総務・車両に導入された電気自動車によりガソリン使用量を削減できた。

(2)廃棄物排出量の削減

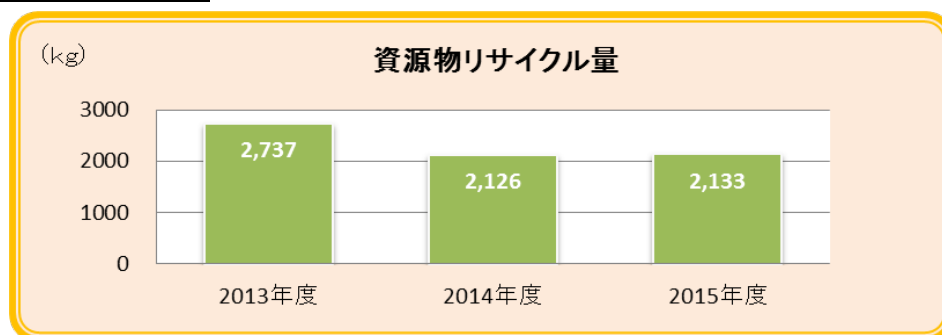
◆可燃ごみ排出量の削減◆



取組内容(2015 年度)	評価
生ゴミ肥料化	○ 茶ガラ等を乾燥させることによりゴミの減量化になる為、今後も続けていきたい。
リサイクル品を分別	○ エコの推進により各社員の意識が高まり、分別、リサイクルの徹底でゴミの減量化につながった。
可燃ごみ削減の呼びかけ	○ 使用後の軍手、使用できなくなった作業着をウエスとして使うなどの継続的な推進により削減できた。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

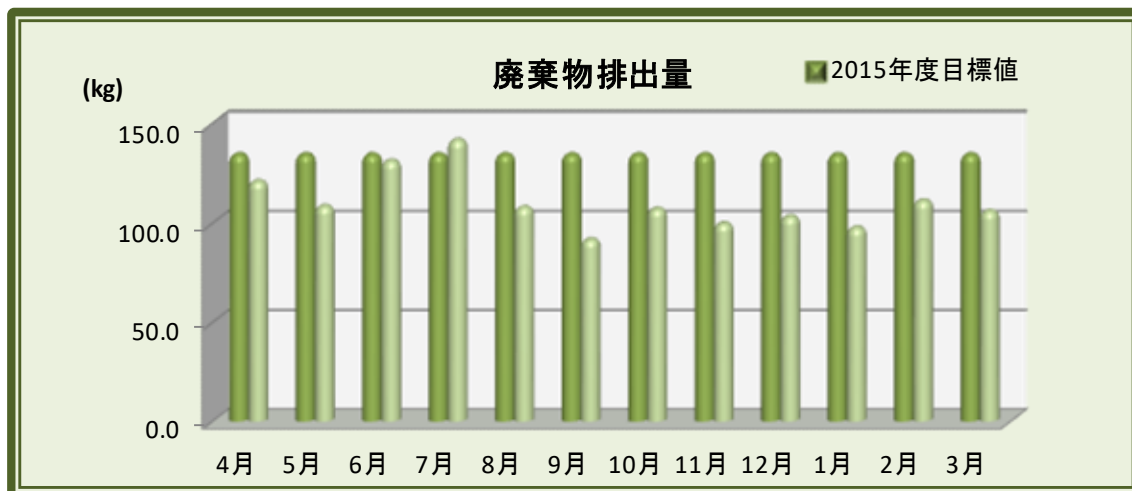
◆資源物のリサイクル◆



取組内容(2015 年度)	評価
家庭資源のリサイクル	○ 家庭で発生する資源の持ち寄り呼びかけることで、リサイクルに協力されている事は評価できる。
両面印刷裏紙使用	○ 分別 BOX 設置後は、各自の認識、把握ができ区分や裏紙使用が徹底されている。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆廃棄物排出量の月間推移◆

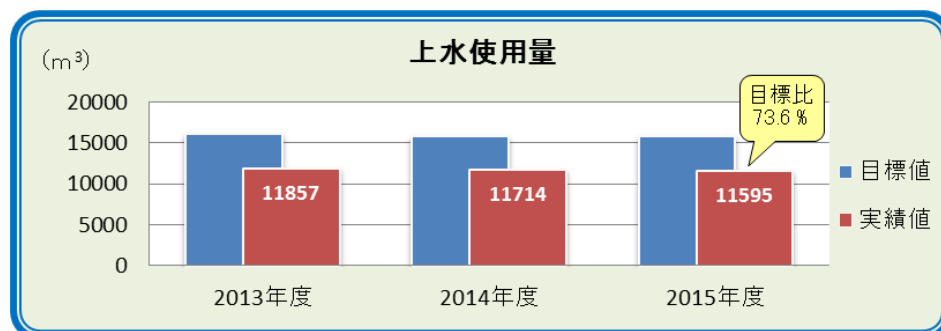


【評価】

可燃ごみの年間排出量は、年間目標値 1,616kg、年間実績値 1,329kg に抑えることが出来ました。ごみの分別の徹底や、使用済みウエスを捨てずに油污れに使用すること、またプラスチック類をリサイクルに出すようにした事で、ごみの減量を達成できました。

(3)水使用量の削減

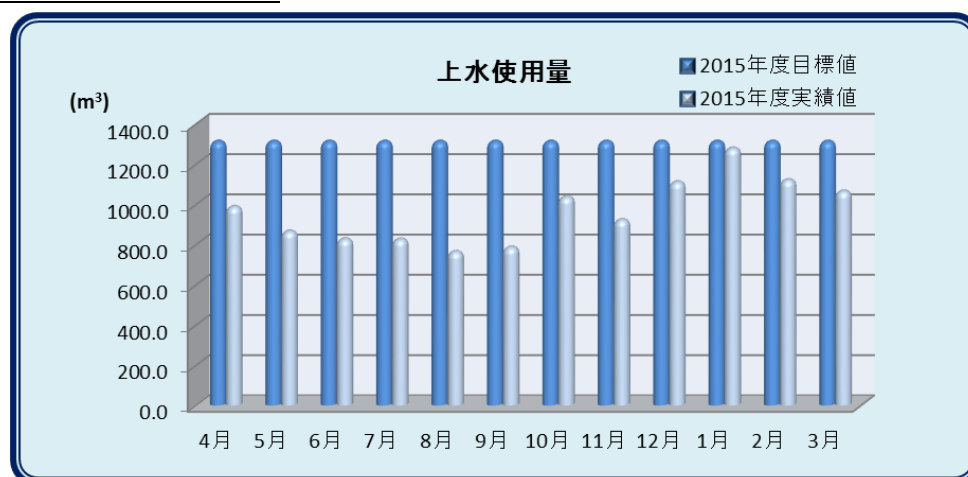
◆上水使用量の削減◆



取組内容(2015 年度)	評価
洗濯物のまとめ洗い	○ 洗濯物をまとめて洗うことにより、洗濯回数を減らし上水の削減に結びついている。
風呂の湯の適正管理	○ 風呂を利用する際に、貯める湯量を適正な量にすることにより、無駄な上水の利用をなくしている。
節水標語の貼り付け	○ 節水標語が目につくように貼り付け、従業員の節水への意識が高まっているので、今後も継続していきたい。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

◆水使用量の月間推移◆



【評価】

水の年間使用量は、年間目標値 15,754m³、実績値 11,594m³で目標達成できました。これは各部署のこまめな節水により出来たと思います。例えば汚れ物のウエスや軍手などは、ある程度たまってから洗濯するように心掛けてもらったり、水漏れや水のだしっぱなしをこまめにチェックしたりした結果だと思います。来年度も本年度の取り組みを継続していきます。

(4)化学物質の適正使用、適正管理

取組内容(2015 年度)	評価
化学物質使用量の把握	○ 化学物質使用量は、月 1 回在庫量を計測し、使用量、廃棄量を把握している。

※評価記入方法 ○…良好 △…概ね良好 ×…要検討

6. 次年度への取り組み内容

- ① グリーン購入に取組目標を設定し、達成できるように努める。
- ② 廃棄物削減・グリーン購入等の目的で導入した、プリンター再生インク・充電式電池の不具合がないか次年度も引き続き管理していく。
- ③ 社会情勢に合わせた環境目標の基準値の変更に伴い、目標値を達成できるように努力する。
- ④ 環境関連法規(フロン回収破壊法を削除、フロン排出抑制法を追加)の変更をしたので、次年度も評価を行っていく。
- ⑤ 今年度より地域貢献活動として弊社社員での本社、東部水処理センター、各ポンプ場周辺の清掃活動を始めました。次年度も引き続き清掃活動を行なっていく。

7. 環境関連法規制等の遵守状況

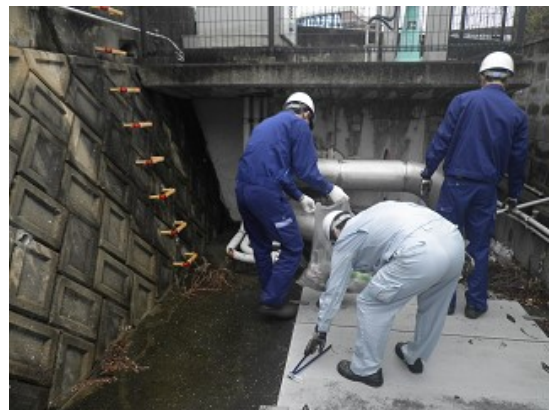
- ・ 環境関連法規制等の遵守の状況を評価した結果、環境法規制等に対する違反はなかった。
- ・ 過去3年間、関係当局よりの違反等の指摘はされていない。
- ・ 最新の法律の改正もインターネットを活用して確認を行っている。

8. その他

① 周辺清掃の紹介

- ・ 弊社では地域貢献活動として周辺清掃を行っている。
- ・ 2015 年は 11 月と 3 月に東部水処理センターと各ポンプ場周辺を清掃した。
- ・ 以下の写真は清掃中に撮影したものである。

清掃活動の写真



② 資源の収集

- ・ 弊社では EA21 の取り組み開始に伴い、各職場や社員の家庭で発生する資源を持ち寄り、資源のリサイクルを行っており 2015 年度の結果は下表のとおりである。
- ・ 資源を収集することで、各職場に対する呼掛けや、家庭で廃棄処分されている資源のリサイクルという形で効果が表れていると評価できる。

2015 年度の EA21 における資源の収集結果
(H27 年 4 月 ～ H28 年 3 月末)

		循環資源量 (kg)
資 源 物	新聞紙	145.9
	段ボール	377.7
	その他の紙	733.5
	アルミ缶	53.3
	ビン	39.7
	スチール缶	179.2
	ペットボトル	119.1
	その他	281.1
合計		1929.5

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

- ・ 結果として CO₂排出量総量は目標未達成であったが、車輛の運転や空調など社員の取り組みで削減できる項目については十分に目標を達成しており、エコアクション21の活動が高いレベルで実行できていると評価する。
- ・ 来期の目標に関しては、昨年同様、福岡市が掲げる新しい CO₂削減目標に合わせて、段階的に高いハードルを設けているため、今期の 6.66%から 8.00%に設定する。
- ・ また昨年導入した電気自動車を継続して使用し、化石燃料使用量の削減を推進する。

以上